夕刊

五月十五日發行

定價　一ケ月金五拾錢　郵送料金五拾錢
廣告料金　一行一回金拾錢　一行一月金八拾錢
發行所　磐城新聞社
磐城郡平町大字平字田町十六番地
電話平局一番
編輯兼發行人　佐藤直衛
印刷人　竹内文平
印刷所　磐城新聞社
平市田町十六番地
電話平局一番
東京扱取次　一八〇一番　五六五番
日曜祭日　翌日休刊

續水禮讃

○△生

いん料水の中に鹽基のカセもが出來るのは閉口であルシユウムが含まれてゐる、このあせもには毎夏少事は發發をよくする上に極めて大切な事で、此の意味で新鮮なうまい水を年のきまで流れ出何を惜らせ、且額ゝのものは六いにより事であるが、然しながら困る事數年前から帽子を廢して日に、井戸水は大抵不潔で平素をさす事にして居る、とな微菌が生棲して居るこの危險の餘我々に安心して生水のうまさを滿喫する事が出來ないのに實に殘念な事である、ところがこの井戸水のやうな危險性もなく、しかも味のよい理想的な水といふのは山岳方面行けば求めるゝのであるし特に岩間から湧き出る清水は名實共に新鮮潤冽そのものと云ふことが出來るであらう。

私のやうな汗つかきもあまりないものゝ自分ながら呆れて居る、私は夏の暑いのはかきも恐れない、私の恐れる夏に汗の出る事で、汗の湧くのが如く出るのを形容して流汗淋漓とか玉の汗をかくとか云ふが、私の汗は全くその流汗淋漓であり玉の汗なのである、電車の中でも街路を歩いて居る時でも、流汗淋漓で玉の汗をかいて居るのである　だからハンケチだけでは拭き切れないので、手拭を二つも持つて歩いて居る　それも唯汗をかくだけならよいその汗から身體の方々にあのやうに汗が湧出するから從つて喉渇く、喉が渇くから水をのむ　水をのむから餘計に汗が出る　あせがいるかと塩分の缺乏を感ずるので、鹽辛　鹽鮭のやうなものを盛んに食ふ　すると　喉が渇き水が欲しくなる、私の身體は何所までも水をのみあせを出すやうに出來て居るのである

（終）

潮流を突くもの

河西新太郎

氷海に鯨を追ふて
潮流を突くものよ　逞しい巨彈よ
この精神的な意志を持つものゝ姿！
春の日の海岸に陽光浴びて
横たはつてゐる銛なのである

×

赤ん子蟹はその銛の上を
樂しい遊び場にして戯れるであらう
動かぬ銛は靜かに眠つてゐるのだ
然し、時きへ來たれば——

川前行

ひろし生

○山狹の小いさき畑に桑の芽のみどろくばかりはぐれ居にけり
○眼なかひの裾にはあらず峯かけて山の深處につゝじは咲ける
○播き終へし田を稲子播げる人のあり昨日の午後を吾は播きたり
○おとゝひゆ昨日の午まで降りし雨に此の水上の水濁れる
○走馬燈の其の如くに咲きつげるつゝじ見あかず汽車の窓より

そのあと

○

悅べ！自ら悅び得ないものは他人を悅ばせることが出來ない

ニイチエ

△楠公櫻井驛に訣別す（延元元）△僧侶5月16日——基の名人本因坊一世歿す（元和九）

講談

夜嵐お絹

〔68〕

梧道軒圓玉

筒井直衛畫

お金は嚙めないよ

常陸屋源兵エは米國人イリアムサダンの御機嫌を取るなめに、猿若町一丁目の芝居茶屋俵屋に伴れ込み杵屋のおきぬをよんで酌を取らせる、ウイリアムはおきぬの美しいのにスツカリ惚れ込み、

『わたくし、この娘好きであります、一緒に遊ぶ宜い』

なぞと、やうやく覺えた日本語で斯んな事をならべる、この唐人めと執これた手を振り放して斯んな所にゐられないよと憂を蹴立てゝ出て行く、それを見送るウイリアム、

『わたし、唐人でありません』

と云つたが、これには源兵衛も困つた、ウイリアムにおきぬを執り持てば此の上にも利益があると金の他には眼中物なしと卑劣な源兵衛、おきぬを詰いたが、厭ですとポンと刎ねられる

と、其後おきぬは病氣で座敷へも出ず引籠つてゐる、それを聞いて源兵衛は割開の三樂を病氣見舞に出し上

『誰か來たのかね』

『姐さん、三樂さんがた出ましになりましたよ』

『ゐや　そう　つちへ通しておくれ』

間もなくそれへ入つてきたは二樂

『御病氣ださうでお案じ申して居りましたが、然し大分宜しいとの事で安心いたしました、一体御病氣は何へでございます』

『血の頭だとさ』

『ヘエ血　道でございますか、これは男　は稀な病氣で、然し姐さん、あんたのやうなお美しいお方が寒れたところは雨になやめる漁村の柳、將又露をふくみしるアノ亞米利加人のいや事海榮か一層趣きがございまばかり云つてすれだなかす、ところで常陸屋の旦那から御座敷へ出ないンだよおから、是をおきぬに渡してきぬは藝者でございます花くれと云つて私が受取つて來ましが、何んぞお口に合ふ物を食べて頂きます』

それに出した紙包み、おきぬはチラリと見て、

『その中に何がゐるの』

『お金でございます』

『返しておくンなさい、わたしは歯が惡いからお金を嚙むことは出來ないと云つネ』

是を聞いて三樂は額をたゝき

『これは恐れ入りましたナ何んたに歯が丈夫でも二歩金を食べることは出來ませんこゝで旨　物を買つ食べて頂きます』

『ワルさいね、わたしは常魁ではありませんと、さう陸屋の旦那は嫌いだよ、お云つておくれ』

『ヘエ〜〜さう申します、金さへ出せばどんな事でも出來ると思つてゐるからさ富士の山程お金を積まれても氣に入らぬお客の機嫌は取れないよ』

『いよ〜〜恐い入りやしたあなたのやうな藝者衆ばかりゐればお客も良くなります、世の中が變つてお金を見ると愛い女も柔かくたり屋の旦那ど一緒に遊んでゐる

『こいは怪しかりん、十兩だとて百兩だとて、遊はないお金ならば石や瓦と同じ事さ、常陸屋の旦那の手一觸れたお金だと思ふと見るのも厭だよ、捨ておいで』

『何うも困りましたねえ、ようがす、その仰せの條々旦那にお話し申します』

と三樂は金を持つて源兵エの遊んでゐる芝居茶屋の俵屋に歸つてきた、源兵衛は藝者に酌をさして大分酔つてゐたが、

『オヽ三樂おきぬは何うした』

『つまり　つちへ通しておくれ』

間もなくそれへ入つてきたは二樂

『御病氣ださうでお案じ申して居りましたが、然し大分宜しいとの事で安心いたしました、一体御病氣は何へでございます』

『血の頭だとさ』

『ヘエ血　道でございますか、これは男　は稀な病氣で、然し姐さん、あんたのやうなお美しいお方が寒れたところは雨になやめる漁村の柳、將又露をふくみしるアノ亞米利加人のいや事海榮か一層趣きがございまばかり云つてすれだなかす、ところで常陸屋の旦那から御座敷へ出ないンだよおから、是をおきぬに渡してきぬは藝者でございます花くれと云つて私が受取つて來ましが、何んぞお口に合ふ物を食べて頂きます』

それに出した紙包み、おきぬはチラリと見て、

『その中に何がゐるの』

『お金でございます』

『返しておくンなさい、わたしは歯が惡いからお金を嚙むことは出來ないと云つネ』

是を聞いて三樂は額をたゝき

『これは恐れ入りましたナ何んたに歯が丈夫でも二歩金を食べることは出來ませんこゝで旨　物を買つ食べて頂きます』

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南門（電五五番）
醫學博士　酒井　保

平市田町（電話五三一番）
高久病院
醫學士　高久　忠
新潟醫學士　赤羽　榮
藥劑士　佐竹　榮
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

▼男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

興ダイペンヤ付
ウエル萬年筆
二、〇〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覽會』出品中込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店　文魁文堂
電話三一三

廣告

平市出身東寶映畫新人スター三田國夫主演
『遙かなる戰線へ送る』上映記念
慰問文大募集
應募規定
(1)四百字迄一人一篇限り
(2)題名「遙かなる弟」「遙かなる父」「遙かなる兄へ」「遙かなる夫へ」
右四題の內
(3)必ず住所氏名、及、戰地の宛名を別紙に認める事
(4)期間　五月二十日まで
(5)入賞者には「遙かなる弟の」觀覽券交付を以て發表に換へる
(6)宛名　平市紺屋町聚樂館內三田國夫後援會
(7)入選慰問文は記念スタンプを捺し遙かなる戰地にお送り致します
東寶映畫　聚樂館
三田國夫後援會
電話四七〇番

御婚禮、御會食、御宴會
尙は季節料理
平市出町　電話一七一番
さかき家
料理部
女中さん數名至急入用
〔優遇致します〕

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
物名　みやま羊羹（名產梨かん）
——赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土產！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同　七滝……のり羊羹
同　豐間……辨天羊羹
小川郷驛前
製造販賣元　平屋賣店

ま冬の味覺
とんかつ專門の店
かの家
興亞の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）

蒼白い顏をしてゐる時ではない
酵母劑の上を行く綜合ピルツ劑
腸胃强生
ミクロゼ
能食
能便
能眠
能働
能便
能眠
能働
の秋だ！
ピルツ劑ミクローゼ！
1最新鋭が我が細菌學の泰斗・豐島學士博士に嗅して研究實に十八年の末、漸く「酵母劑にまさる」の確信を得て發賣したミクローゼは、能食・能便・能眠・能働の四能を十二分たらしめる性能を備へてゐる文字通りの强生劑である。
2酵母の効果は、今や世に聲く知られてゐるが、抵抗力の微弱な酵母は、製劑過程に於て死滅し弱い缺ひがある。
3豐島博士はこの點に留意して、生存力の極めて强靭な日本固有のピルツ（有効菌）に着目されこれを生きたまゝの狀態で顆粒化するのに成功されたのである。
4故に、ミクローゼの効力は、酵母劑のそれに比して强力、且つ持續的である。體內で、ピルツがとしごし殖えて行くのだから有難い。
5ミクローゼを服んで、先づ第一に分るのは、食慾である。次に快い便通である。安眠な睡眠である。——いや、それだけではない。體內では、食べた食物を別かの無駄もなく榮養として吸收するために、ミクローゼは絕えず活動を續けてゐるのだ。
一ケ月分三六〇錢　一圓五十錢
東京・五反田
☆星製藥株式會社

新法は不徹底だ

申告既に一萬餘名

所得納稅者激增豫想さる

改制直後の所得申告に就て三種所得稅二千五百人、營業收益稅同上千六百四十九名らも仲々周知の徹底を望ん、こ等併合者を一人と計み難く、市郡を管轄區域とする平均務者に於ては對し、既に二倍强の申告が節に當人から申告を要せざる、調査員運動管轄には源泉課稅、俸給生活者及關係なる源泉課稅、俸給生活者等を入れると び銀行等の預金利子、株配當等に對する分を除、時不稅務署管內殺なる新稅法關係は今の處約一萬人を數、蓋し夥しい數に上ぬ申告あり、稅法改正の歸わるである

調査員採用か

今の處未法公布無し

稅法の改正に伴ひ管稅務署所では本月三十日より二日管內の現調査員間平市で普通科及び郵便科

野崎滿藏(平)近藤吉松(江名)菅天目信次郎(勿來)以上民政、小野晉平(小名浜)渡邊貫一(大浦)柏原幸次郎(平)阿部政右衛門(同)以上政友の七名は從來と納稅者を異にする必然の結果として新法による資格者によって改選することになるではないかと豫想されるが、今以て右に關する法規が公布されぬ處から觀て或は別に選擧を行はず、現在の儘次の改選期迄任期するではないかとの觀測も行はれてゐる

仙遞講習所入所試驗

仙台遞信講習所將來の參考に致し度」と

文展審査員赤堀信平氏個人謙抑な態度に出て居る

會心の作約卅點

赤堀信平氏個展

愈よ明日三越で蓋明け

展覽會は既報の通り明十六日より十九迄東京日本橋三越五階に於て開催するが出陳は左記會心の作約三十點作者としては「徹底した熱のある御批判を頂き、

出品目錄

1幅觀音、2觀音、3觀音、4觀音(材白檀)、5幅釋尊、6幅德太子、7幅德太子、8獅子(額)、9獅子、10老子、11孔子、12芭蕉翁、13西王母、14春日(牛)、15布袋、16鍾馗(狛犬)、17翁、18鍾馗、19蹴鞠(雞)、20和氣清麿、21紫式部、22想、23白衣觀音、24養老、25豊太閤、26愛、27孔子、28松花堂、29大日如來、30トム

特別出品

地に立ちて三部作ノ一第六回帝展特選、大地を行く國二第七回帝展特選、空同三第八回帝展特選、文鎮ト鶴、狛犬、獅子、雛、香盒、みかん、犬

防空普及映畫

四倉で上映

防空思想普及と就後經驗の徹底化を目指して來る九日平翌二十日四倉の二ケ所に警防課主催の映畫會が開かれる

第二回藤田平第二遠足運動

藤田女學校生三百六十名は雨のため延期し春の遠足運動を今十五日學年別に夫々行ひ、また市內田町では今十五日學校出發初夏の新緑子へ遠足運動を行つた

會を來月十五日まで同所提出すればよい

熱河の教育機構

公營子國民學校にて

鈴木正(寄)

(中)

遊戯競技などの指導は無いと言ひたい程です。野球を必要としません、健全なりません。校庭の廣いのなどやつたら三壘に走るの國民養成こそ急務です。當も一寸驚きます。二百米のも珍らしくないでせう。まあ校に實習地は約三丁歩です。日本の明治初年かと想像あの日本の明治初年かと想像から徐ろに各組二時間の實習します。勿論教育綱領は遵でも宜しく折れます、今是率ひます、滿洲の教育は精神に要一類が身を以て延び勞作に重點が置かれてゐと

大樹の倒れる音を

力强い建設の暗示

元入山從業員　上田廣君(信通)

自治會員諸君には益々御壯健にて元氣にて軍務に精勵致して居りますれば幾重ながら御安心下さい、渡支以來五ケ月餘中支の冬は思つたより暖に過し內地では三月小生もお陰樣にて元氣にて軍務に精勵致して居りますれば幾重ながら御安心下さい、渡支以來五ケ月餘中支の冬は思つた

中を聽く

(763)

自治會員諸君には益々御壯健にて元氣にて軍務に精勵致して居りますれば幾重ながら御安心下さい、渡支以來五ケ月餘中支の冬は思つた

元磐中の先生

石田謙藏少佐散華

十一日中支戰線で

元磐中教諭(數學、教練擔當)大沼郡赤津村出身石田謙藏少佐は、十一日中支○○の戰で名譽の戰死を遂げた

同少佐は士官學校第二十四期生、昭和四年少佐で退官後廣島高等師範學校に入學卒業後磐城及び一重縣四日市々立商業學校教諭となり教練から廠召した教育畑の武人、留守宅は若松市榮町櫻岡にあり、妻よしゑさん(三八)長男昇君(九)＝平第一小學校卒業＝長女みよ子前九時から同町八幡公園忠

「劍福島」の名を馳す

平署の鈴木部長

また全國大會で勝つ

平署巡査部長劍道教士鈴木大會に出場するが未だ一回千六百年奉祀第四十四回全國大演武會、出場、同じく教士根岸直次郎氏(靜岡)と對戰勝を占め「劍道福島」の名をはせた、同氏は毎年同

ブラツセル市に磐女の卒業生

實は先年疾歸朝

鐵火の洗禮を受けた白耳義の首都ブラツセルにる邦人三十名中磐女の業生が居る筈だ。と云話が傳はり色々調べ隣縣茨城の大津町出身高田强子さん(磐女第十期生＝昭和二年)が佐尚武大使の白耳義在勤時代伴はれてブ市に居たあり、が其後滿洲事變當時歸朝、今は幸福な家庭の人となつてゐるらしいが判明往年のクラスメート間に櫻丘時代の話が聲つたと

赤ちやん健康診斷

妻と てその養育にいそしんで居る

さん(七)二男昭君(三)三女みつねさん(10)の五兒を抱へて健康も武人の

この心掛で進め

求職兒父兄と求人側に

紹介所のご注文

世に不馴れな子供を健全に育し上げねばなるまい、手續きを怠らず充分心して欲しい

△求人側に對し、先づ雇入制限令の趣旨を充分理解して定員の認可其他に手ぬかりのなく、求人申込みは色々準備もあり十月頃まで提出して欲しい、父兄は從來の年期奉公式でなく日、月給制

就職兒を側面指導

職業戰線に立つた兒童達を

同所では指導するため例の如く遠藤幹施の參考資料を蒐集するなは今年度の卒業生中には國記の如く卒業前に確る目標をたてなかつた關係から今もつて迷つてゐるものもあるので明年度分からは前もつて保護者の承諾を得、幹施に着手したい意向を有してゐる

度を望んでゐるやうである

飛込み自殺

十四日午前十時五十分頃磐越本線平赤井間好間村地內で上り列車に飛込み自殺した女は平署檢視の結果市內胡麻澤紙屑拾ひ渡邊清三郎妻たつ四三で神經衰弱が嵩じたもの

平市慶弔錄

▲死亡　本籍四丁目五三東京市豐島區池袋一丁目八二七遠藤蓋之助氏(五三)本籍二丁目六東京市蒲當區通沼町二丁目一六石川利七氏(五八)

十六日

(小名浜側鉄所觀側)

高潮前一二〇〇後一二五　干潮前五二五後五一五

紙碑前で故

滿鐵彦根車掌以

魂祭を執行する

報告歡笑

新稅法による所得申告の好成績は假令控除恩典の關係とするも誠に結構

□調査員が据ゑ置きとならば之亦結構二重奏だ

□法理上なさで濟むならば今どきの選擧省略大賛成

□石田少佐の易簡。新緑の高月台上紙爽の俤を髣髴して追憶は尽る

□皐月なかば。蛙のコーラスに初夏愈々總進軍し來る

▲一白　小事につまづきて大事を敗ることあり守るが勝△二黑　四圍の無事なるより却つて心の緩みを生ず▲三碧　眉頭にらん鉾する樣な危險の地位にある因日▲四綠　外の事よりも內を整へてみだれぬ樣にすべし▲五黃　平穩無事田園に身を發ふこと尤も可なる日▲六白　發達すべき好時期來る多少の障がいにたわむな▲七赤　新しき勢力が刻々と加はり來る盛運日たり▲八白　逆浪にほんろうされる樣な日確く內を守るべし▲九紫　外にのみ走れば內は手薄となり破れを生ず

天氣豫報

小名浜側候所觀側

今晩　北の風晴一時曇

明日　北から南の風薄曇天氣よし

お醬油は……ヤマフル

塩屋

味噌醬油
たひら正宗
鰹節食品料

山崎合名會社

福島縣平市
電話(營業部一〇番 本店二七番)

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

平市南町十四番地(磐城署通り角)
(醫診療所　平市六丁目)

木村外科醫院

木村淳

外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科

電話三〇九番

◎入院應需

開業

內臟外科
整形外科

平市大町二番地

內木外科醫院

醫學博士　內木宗八

入院隨時

春から夏へ

都會……町……村……
國民歌　流行歌　浪花節
曉に祈る　蛇姫の歌　妻米若
新妻鏡　母雲　月

洋樂ハ輕音器、ダンス曲
ビクターラヂオ　一二五、〇〇
コロムビアラヂオ　九五、〇〇

平市五電話一九五

金光堂時計店

蓄音器部

りん病
こしけ

專門藥

岩里別府淋藥　一週間分參圓(黑)五圓(赤)

痛みある病。熱ある病

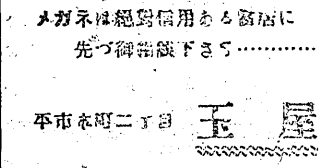
岩里別府散　七包入五十錢　十五包入壹圓

製藥本舗　別府市岩里天然堂

代理店　阿康藥局

平市古銀治町一〇
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

メガネ專門の店



メガネは絶對信用ある商店に
……さらば御指名先づ

玉屋

平市本町二丁目

ミシン洋裁

ミシン界の王座
陸海軍御用達
蘇工省撰定
滿州鮮指定
純國產ノ權威

アサヒミシン
ニツポンミシン
ニツサンミシン
パインミシン
シンガーミシン

現金、月賦、割賦
型錄無代進呈

平市田町
シンガーミシン商會

◎中古商價買入